

平成27年度 早わかり

# 船橋の台所事情

～これであなとも予算ツウ～



船橋市の  
**予算**を  
わかりやすく  
説明するよ!

ふなばし産品ブランドPRキャラクター  
目利き番頭 船えもん

# 船橋がさらに住みやすく魅力あるまちへ

今年、船橋市の人口は62万人に達し、まだ増え続けています。人口が増えているということは、まちに活気がある証です。私はこの流れを途絶えさせないためにも住みやすいまち、魅力あるまちをつくっていかねばならないと考えております。



平成27年度の一般会計予算は、初めて2,000億円を超え、とても大きな額となりました。これまで手掛けてきた幅広い分野の計画や構想を深め、さらに前進させていく一年とし、10年後、20年後を見据え、賑わいの創出や積極的な情報発信など、市民が暮らしやすく、魅力を感じられる都市となるために必要な予算を計上しました。

市の予算は皆さん一人ひとりの生活に直接かかわる様々な事業を運営するために使われています。また、今後、市がさらに発展していくためには、健全な財政運営が大切です。市の予算、財政状況を知っていただくために、今年も、「船橋の台所事情」を作成しました。一人でも多くの市民の皆さんに興味を持っていただければ幸いです。

平成27年

船橋市長 松戸 徹

## も く じ

予算の基礎知識……………	2	船橋市の財政状況……………	14
一般会計歳入……………	5	持続可能で安定的な 財政運営のために……………	21
一般会計歳出……………	8	船橋ふるさと応援寄附金 (ふるさと納税)……………	22
船橋市の家計簿……………	10		
平成27年度予算の主要事業……………	11		

# 予算の基礎知識

## 「予算」とはなんですか？

1年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年4月から翌年の3月までの年度単位で考えます。

この1年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

## 予算はどのように決めるの？

### 収入

市民の皆さんから納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

### 支出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。

見積もった収入ですべての仕事ができればいいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性が高いかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、後期基本計画（※11ページ参照）との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

予算の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される船橋市議会で審査してもらい、市議会の議決を受けてはじめて予算が決まります。

これを「当初予算」と言います。

市役所の作業

予算編成方針 8月

予算要求 10月

市長査定 1月下旬

### 予算案提出

市議会の審議

予算案審議 2月中旬

### 議決

当初予算成立 3月下旬

## 決まった予算は変えられないの？

4月から翌年の3月までの1年間の予算（当初予算）は、3月に市議会での議決を受けて決まります。

しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けてはじめて決まります。

# 予算の規模と会計の仕組み

## 一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。

平成27年度の予算規模は、2,011億1,000万円の前年比5.4%増です。7年連続の増額予算で過去最大の予算規模です。



今から60年前の昭和30年度の予算額は、3億2,092万6千円でした。平成27年度の約600分の1でした。昭和37年度には、初めて10億円を突破しました。昭和46年度には、100億円を突破、平成元年度に1,000億円を突破、そして平成27年度に初めて2,000億円を突破しました。

予算額は、約600倍になったのに比べ人口は約6倍です。人口の増加率以上に市の仕事が増えていることがわかります。

年 度	予 算 額	人 口
昭和30年度	3億2,093万円	11万人
昭和37年度	13億6,500万円	17万人
昭和46年度	110億3,000万円	33万人
平成元年度	1,034億5,000万円	53万人
平成27年度	2,011億1,000万円	62万人

627倍 (Budget increase from昭和30年度 to 平成27年度)

6倍 (Population increase from昭和30年度 to 平成27年度)

## 特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料、下水道使用料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。

お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区 分		平成27年度予算額
特 別 会 計	国民健康保険事業	682億1,600万円
	下水道事業	274億2,100万円
	小型自動車競走事業	46億5,400万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	16億300万円
	介護保険事業	359億8,700万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億円
	後期高齢者医療事業	58億600万円
計		1,437億8,700万円

## 公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院）を運営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収益を主な財源としています。

特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

区 分		平成27年度予算額
企 業 会 計	地方卸売市場事業	14億2,400万円
	病院事業	167億2,400万円
	計	181億4,800万円



# 一般会計歳入

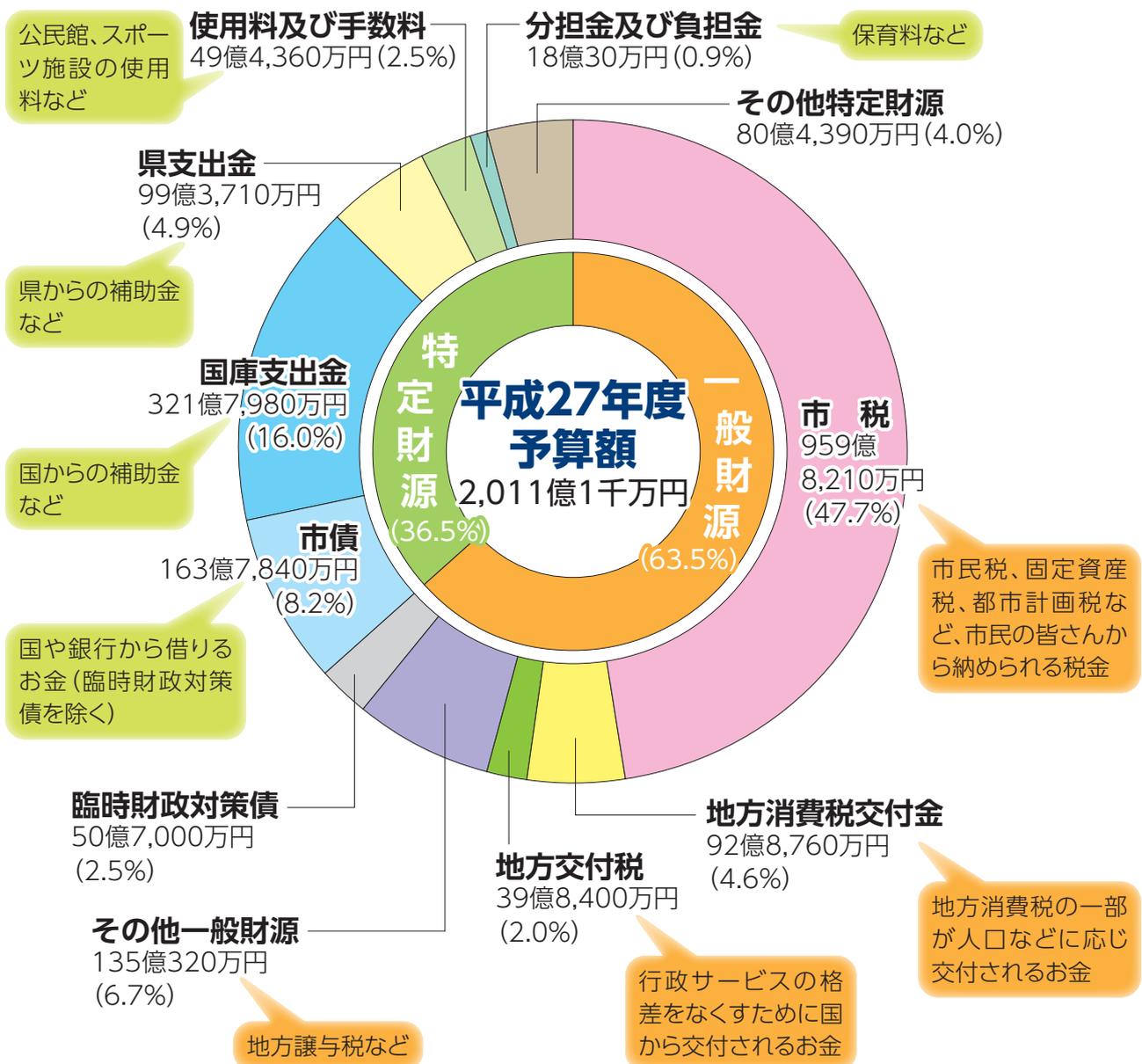
## 市の収入にはどんなものがありますか？

市の歳入（1年間の市の収入をいいます）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。一般財源は、市が受け取る時点で使い道があらかじめ決まっていないうちのお金のこと、市税や地方交付税などです。

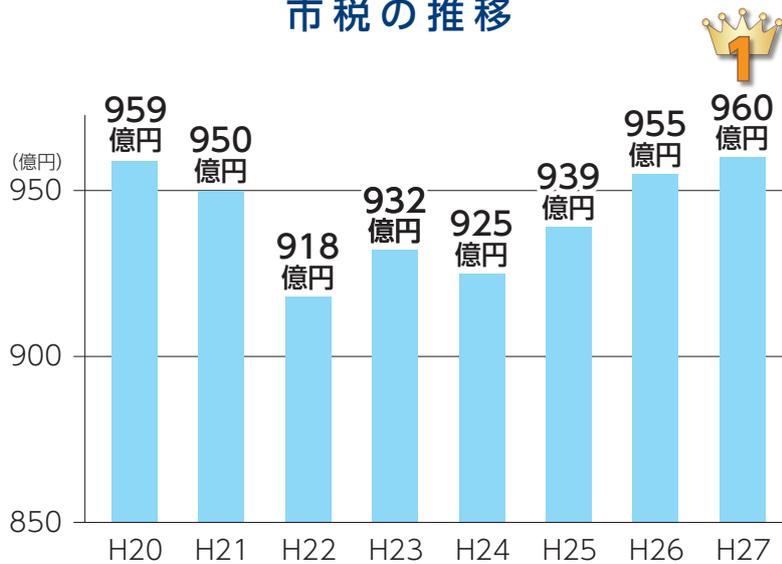
特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決められているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、清掃工場の建替えなどに使うため、国や銀行から借りる市債などです。

市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



## 過去最大の市税予算額

### 市税の推移

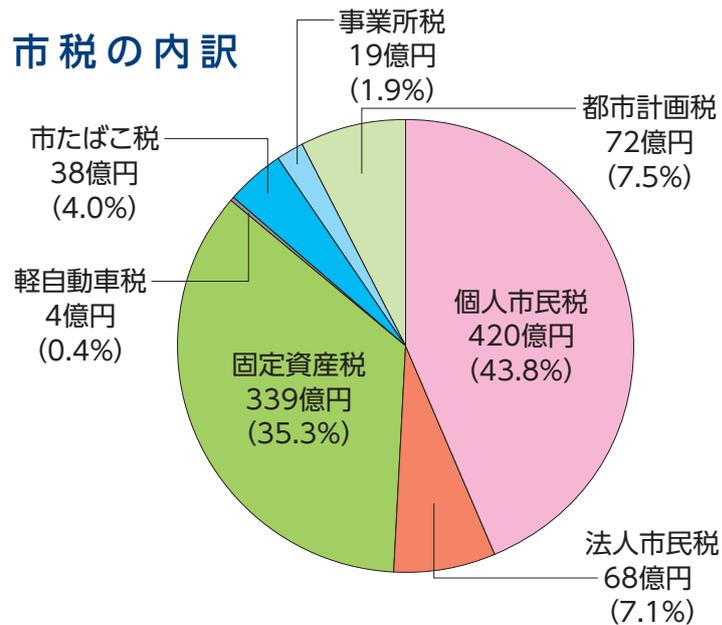


平成27年度市税の予算額は前年比0.5%増、4.5億円増を見込んでいます。

景気の回復傾向を受けて個人市民税や法人市民税の増収を見込み、過去最大の額になっています。

市税は、市の歳入の約半分を占めています。その内訳は、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

### 市税の内訳



**個人市民税** 市民の皆さんに納めていただく税金

**法人市民税** 市内に事業所等がある法人に納めていただく税金

**固定資産税** 土地・家屋・償却資産(事業用の機械など)にかかる税金

**軽自動車税** 軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

**市たばこ税** たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金

**事業所税** 都市環境の整備等の費用に充てるため事業所等に納めていただく税金

**都市計画税** 下水道・公園などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金

## 市税以外の主なものを説明します

### 地方消費税交付金

消費税の内訳は、消費税（国税）と地方消費税です。

平成26年4月1日から消費税率が8%になりましたが、そのうち6.3%が消費税（国税）で、1.7%が地方消費税です。この地方消費税は、都道府県を通して地方消費税交付金として市町村に配られます。なお、平成29年4月1からは、消費税率が10%になります。そのうち7.8%が消費税（国税）、2.2%が地方消費税です。

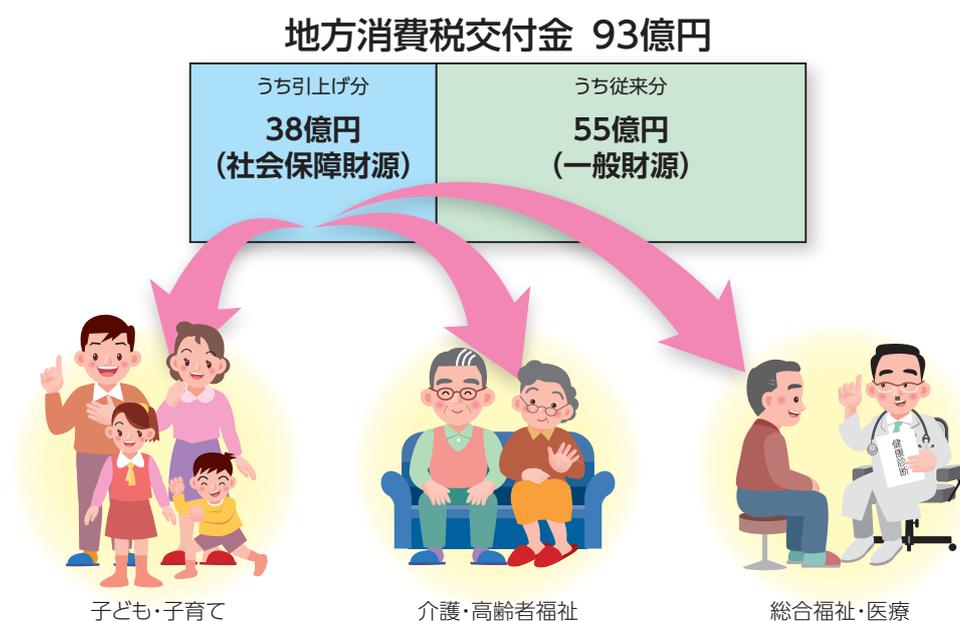
税率の引上げは、急速な少子高齢化や社会経済状況が大きく変化する中で、安定的な社会保障制度の財源を確保するために行われます。

税率引上げによる増収分は、全て社会保障の充実と安定化のために使われます。

### ●船橋市は何に使うの？

地方消費税交付金は、市が行うさまざまな事業の財源として使いますが、税率引上げ分（平成27年度予算で38億円）は社会保障財源として使います。

認可保育所の定員拡大や認定こども園や地域型保育の推進など待機児童の解消に向けた事業の財源とするほか、総合福祉、医療、介護・高齢者福祉、子ども・子育て、障害者福祉、就労促進、貧困・格差対策等の社会保障関係事業に使うことにしています。

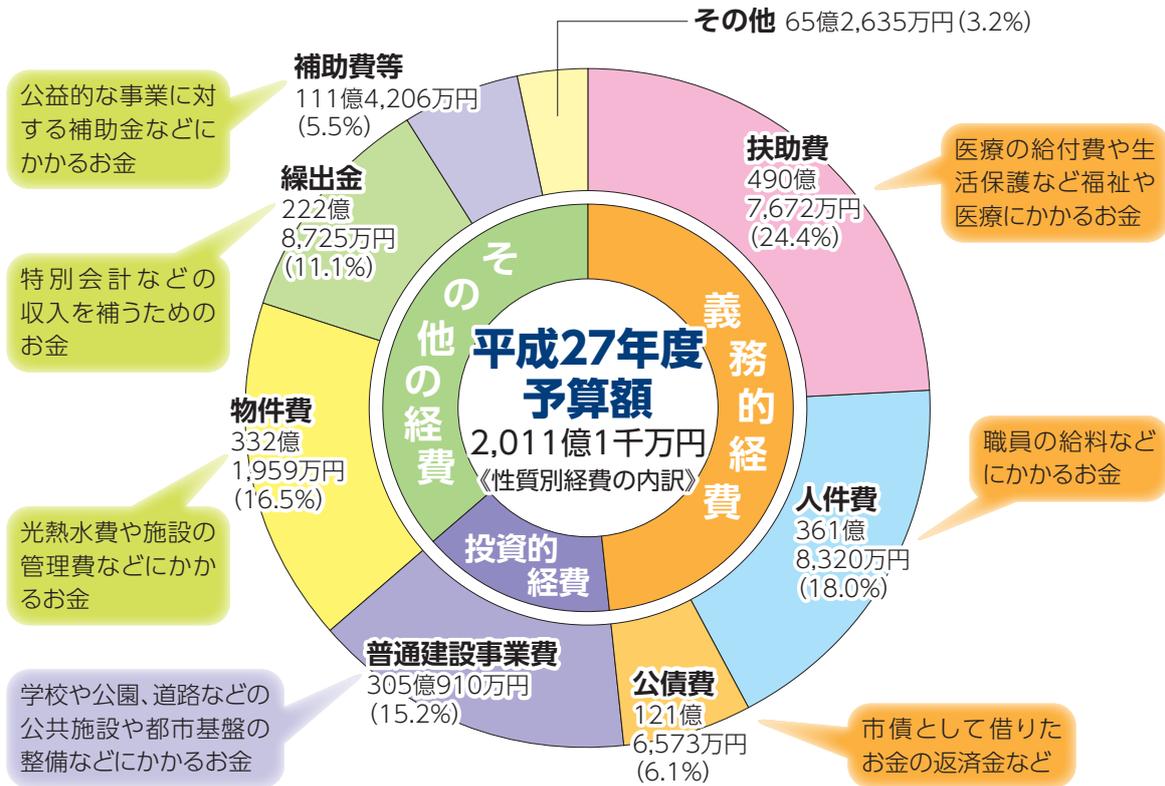


# 一般会計歳出

## 市の支出にはどんなものがありますか？

### 性質別経費による内訳

市の歳出（1年間の市の支出）を経費の性質に着目して分類しました。

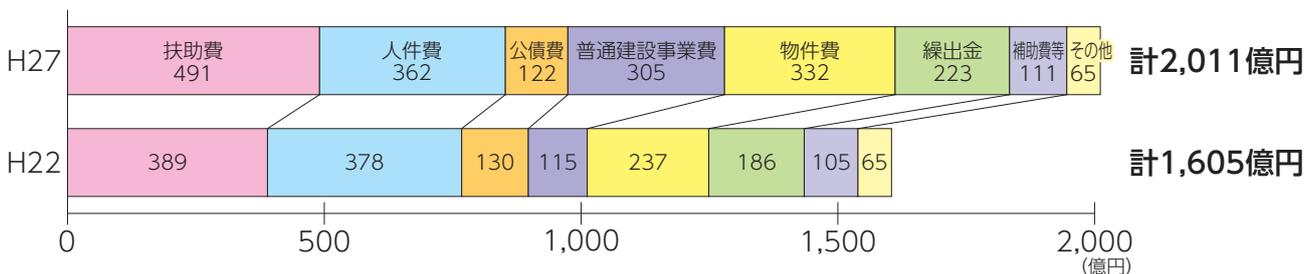


### 義務的経費・投資的経費とは…

法令等により支払いが義務付けられていて、勝手に減らすことが難しい経費のことを「義務的経費」と言います。また、道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費のことを「投資的経費」と言います。

予算額を5年前と比較すると歳出全体で406億円も増えています。義務的経費の補助費は生活保護費などの社会保障経費の増加により、102億円も増えています。一方、人件費は、約16億円減少しています。

投資的経費である普通建設事業費は小・中学校の耐震化や北部清掃工場の建設、（仮称）保健福祉センターの建設などにより190億円と大きく増えており、約2.7倍となっています。



## 市民生活に身近な予算の内訳

皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

### 1 ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間71億円かかります。

世帯数274,866世帯（27.4現在）

1世帯あたりにすると年額25,758円です。

市税など 21,417円	使用料・手数料 4,316円
-----------------	-------------------

その他  
25円



### 2 消防・救急にかかる予算

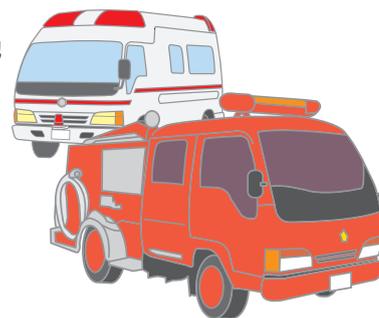
消防活動や救急活動に係る人件費や消防車両の維持費などで年間58億円かかります。

人口621,069人（27.4現在）

市民1人あたりにすると年額9,262円です。

市税など 9,228円	国・県補助金 1円
----------------	--------------

その他  
33円



### 3 学校給食にかかる予算

小・中・特別支援学校の給食を作る人件費や食材料費などで年間56億円かかります。

保護者の皆さんからは食材料費を負担してもらっています。

児童・生徒・教職員数 51,490人（27.5現在）

児童・生徒・教職員1人あたりにすると年額108,179円です。

市税など 56,268円	保護者・教職員負担 51,909円
-----------------	----------------------

その他  
2円



学校給食費の保護者・教職員負担や粗大ごみの処理手数料などはサービスを利用した人に経費を負担してもらっています。また、消防や救急は利用者に経費を負担してもらっていません。主に市民の皆さんに納めていただく市税で運営しています。

# 船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、約2,011億円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収414万円（※）（給与月収34万5千円）であらわしてみました。

## 毎月の収入

**給 与** 345,000円

(うち基本給〈市税〉220,000円)  
(うち諸手当〈地方譲与税、地方消費税交付金、国・県支出金など〉125,000円)

**家 賃 収 入** 57,000円

(分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など)

**親からの仕送り** 9,000円

(地方交付税)

**家の増改築等のローン(借金)**

(市債) 49,000円  
(うち臨時財政対策債：12,000円)

**合 計** 460,000円

## 毎月の支出

**食 費** 83,000円

(人件費)

**医療費など** 112,000円

(扶助費)

**光熱水費や電話代などの生活費**

(物件費、補助費等、維持補修費など)  
116,000円

**子供への仕送り** 51,000円

(他会計への繰出金)

**家の増改築費** 70,000円

(普通建設事業)

**ローンの返済(借金)** 28,000円

(公債費)

**合 計** 460,000円

※年収414万円は、国税庁が調査した平成25年分民間給与実態統計調査の平均給与額。



# 平成27年度予算の主要事業

平成27年度の予算は、市の抱える諸課題を重点的かつ計画的に解決するため、「後期基本計画※」の「めざすまちの姿」で示す6つの取り組みを着実に実施することを基本とし、市民の幸せと、子供たちの豊かな未来のため、『市民が暮らしやすく、魅力を感じられる都市』を目指していくための予算配分を行いました。

ここでは平成27年度予算に計上した主要事業を6つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※市政運営を総合的かつ計画的に進めていくために「基本計画」があります。特に平成24年度から平成32年度までの9年間を「後期基本計画」と呼んでいます。

## 笑顔があふれる子育てのまち

### ●認可保育所の定員拡大（14億4,373万円）

認可保育所の新設等に加え、既存施設の定員増を推進します。

### ●認定こども園や地域型保育の推進（11億324万円）

「認定こども園」の普及や「小規模保育」等の地域型保育の推進に取り組みます。

### ●子育て世帯へ商品購入券を交付 （2億9,762万円 26年度補正予算）

子育て世帯臨時特例給付金の支給世帯に、市内の商店等で使用できる商品購入券を交付します。

### ●すべての中学校に新たに図書事務職員を 配置（2,378万円）

全市立小学校に配置している図書事務職員を全市立中学校にも配置します。



笑顔いっぱいですくすくと成長を

## 非常時への備えのあるまち

### ●非常用備蓄品・防災用井戸の整備（8,224万円）

宿泊可能避難所や福祉避難所に備蓄されている食料品・飲料水等を拡充・更新します。また災害時の飲料水を確保するため、防災用井戸を整備します。

### ●古和釜町・松が丘地区に消防署所・訓練場を整備（2億2,895万円）

古和釜町・松が丘地区へ新たに消防署所と訓練場を建設するため、用地の取得や基本・実施設計を行います。

### ●小・中学校および特別支援学校の耐震化を完了（4億7,849万円）

前原中学校の改築工事を実施し、すべての校舎等の耐震化を完了します。



建て替えが完了した湊中学校

## 安心して暮らせるまち

### ●地域包括ケアシステムの推進

住み慣れた地域でいつまでも健やかに安心して暮らし続けられるよう、介護・予防・医療・住まい・生活支援が一体的に提供される体制づくりを進めます。

#### ①地域の支え合い体制の強化（1億27万円）

地域の支え合い活動を積極的に支援することで、地域での支え合い体制の確立を目指します。

#### ②在宅医療の支援拠点を設置（2,150万円）

平成27年10月にオープンする(仮称)保健福祉センター内に在宅医療を支援する拠点を設置します。



住み慣れた地域でいつまでも生き生きと

### ●(仮称) 保健福祉センターの建設・運用開始（29億5,281万円）

保健・医療・福祉サービスの拠点として、保健所機能のほか、保健センター、夜間休日急病診療所等の機能を有する複合施設を平成27年10月にオープンします。

### ●歩道環境等の整備（3億1,770万円）

歩行者の安全を確保するため、歩道の設置や段差や急な勾配を解消し、バリアフリー化などを図ります。

## 未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち

### ●海浜公園プール跡地等をリニューアル（380万円、総額22億5,920万円）

ふなばし三番瀬海浜公園のプール跡地等を、三番瀬の魅力を十分に活かした自然体験・環境学習の場として整備し、平成29年度オープンを目指します。



美しい自然が残る三番瀬

### ●潤いと憩いの場としての公園整備（3億8,421万円）

(仮称) 大穴近隣公園の整備に向けた実施設計のほか、(仮称) 若松2丁目公園などの整備を行います。

### ●北部清掃工場・南部清掃工場の建て替え（51億2,596万円）

北部清掃工場の建て替え工事を進め、平成29年度の稼働を目指します。また、南部清掃工場の建設・運営を行う民間事業者を選定します。

## 人が集まる元気なまち

### ●プレミアム付商品券の発行（5億6,870万円 26年度補正予算）

地域経済の活性化を図るため、船橋商工会議所と市商店会連合会が連携して発行する商品券に助成を行います。

### ●運動公園プールをリニューアル（5億6,661万円、総額25億2,538万円）

レクリエーション機能を持たせた魅力ある施設として整備し、平成29年度オープンを目指します。

### ●農産物のPR活動を推進（3,381万円 26年度補正予算）

船橋産農産物の知名度向上を図るため、札幌ドームや都内等でPR活動を行います。また海外販路を目指し、上海でのトップセールスを行います。



新鮮な船橋産農産物

## 市民に愛され、育まれるまち

### ●市の魅力を積極的に発信（1,419万円 当初・26年度補正予算）

旅行雑誌スタイルのフリーペーパーや市を紹介する動画を作成するなど、さまざまな媒体を活用し、市の魅力を積極的にPRしていきます。

### ●音楽でまちを包み込むイベントを開催（1,676万円）

「ふなばしミュージックストリート」や「音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭」など、市民に音楽を楽しむ機会を提供します。



新たなビッグイベント「ふなばしミュージックストリート」

## 平成26年度補正予算との一体的な執行

国の緊急経済対策の一つである「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を財源とする10億3,260万4千円を平成26年度補正予算に計上し地域消費喚起や地方創生など様々な施策を行います。平成27年度当初予算と一体的に執行することで、市民が暮らしやすく、魅力を感じられる都市を目指していきます。

# 船橋市の財政状況

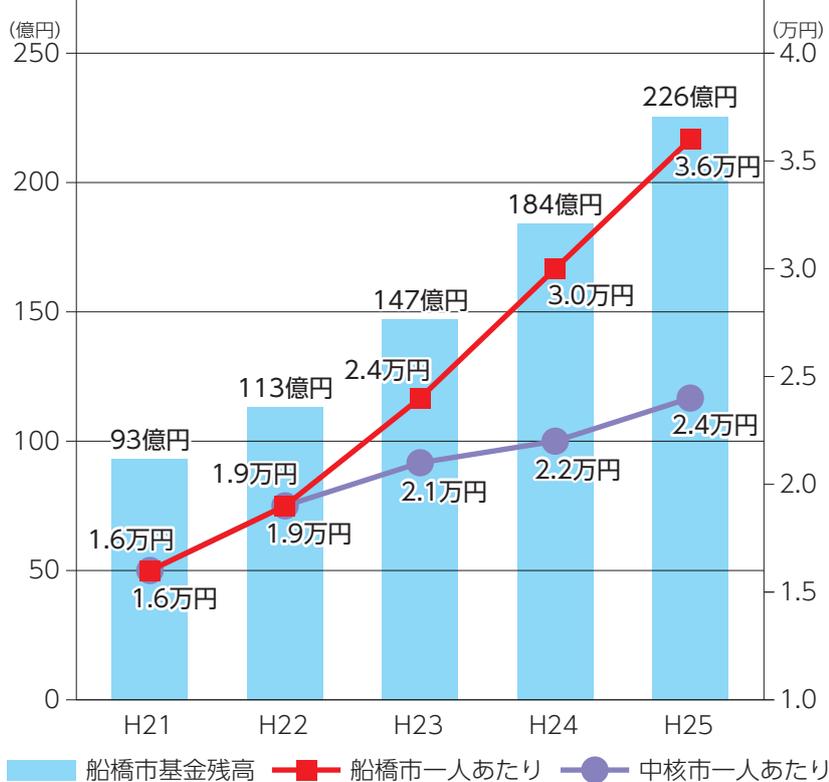
## 船橋市の財政状況はどうなっているの？

市の貯金や借金などを他市との比較を交え説明します。

### 貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの予定外の支出、また今後見込まれる公共施設の老朽化や少子高齢化社会への対応等に備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）などから積み立てています。

### 財源調整基金残高の推移



平成25年度残高は、226億円です。人口1人あたりに置き換えると、36,437円で全国の中核市42市（平均23,844円）中、多い方から9番目です。

### 財政状況の比較は中核市同士で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

また、政令指定都市や中核市では、都道府県の行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため財政状況を他市と比較するときには、同じ中核市同士で比較します。

## 地方交付税・臨時財政対策債ってなに？

自治体の仕事は、小・中学校の維持管理や、消防・救急、高齢者や障害者の福祉施策など多くのお金が必要です。一方、入ってくるお金（税金）は、会社や工場が多くあり、たくさん税金が納められる自治体から、高齢化や過疎化が進み、税金が非常に少ない自治体までいろいろあります。

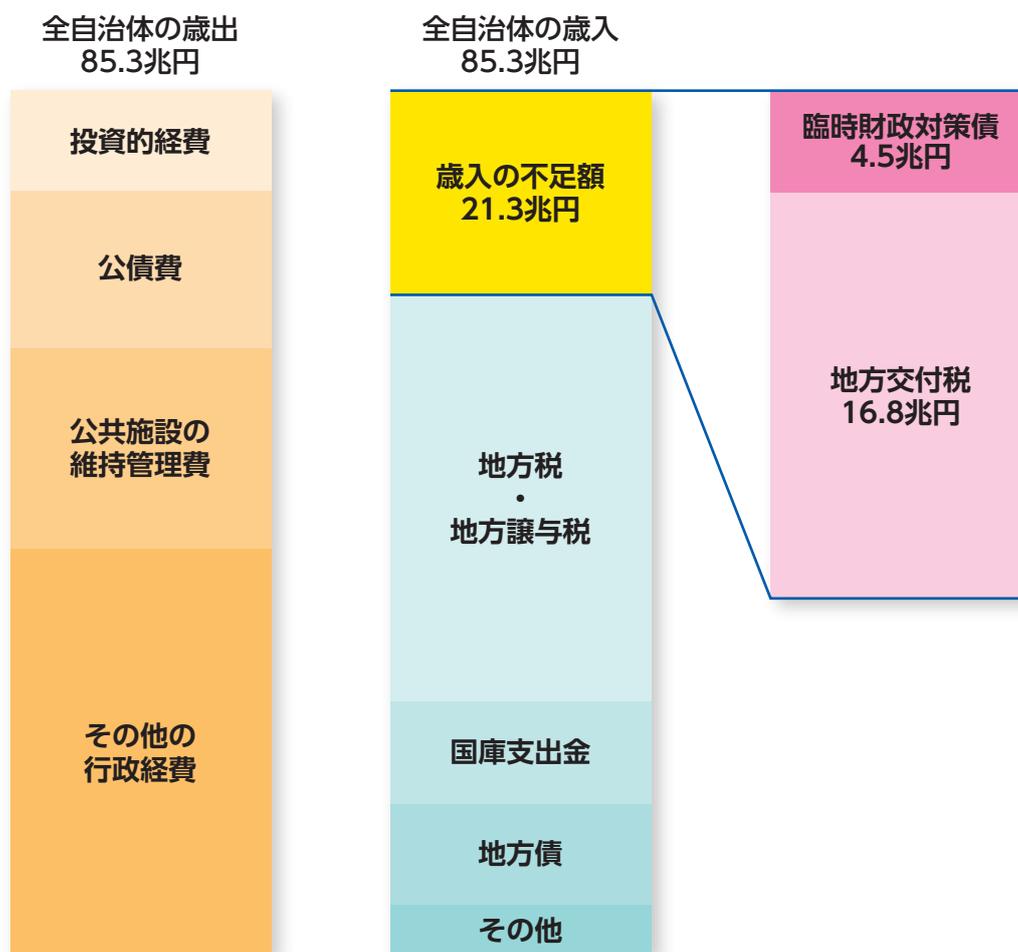
そこで、どの地域に住む人にも一定の行政サービスを提供できるように自治体の全体の財源を確保し、また、各自治体の税金などの不均衡を調整するために国が配るお金が「地方交付税」です。

地方交付税の額は、国が全自治体の歳出（支出）と歳入（収入）を見込み決定しています。この見込みを「地方財政計画」と言います。

歳出は、公共施設の維持管理費や借金の返済（公債費）、道路や学校の整備（投資的経費）などを見込みます。歳入は、地方税や国からの補助金などを見込みます。その結果、歳入が不足する額が国から地方交付税として配られます。これで全自治体が行う仕事に必要なお金が確保されることになります。

本来は、この不足額がすべて国から配られるのですが、法律で定められた割合のお金では足りないため、不足分を「臨時財政対策債」という地方債（借金）で賄います。

### 平成27年度地方財政計画

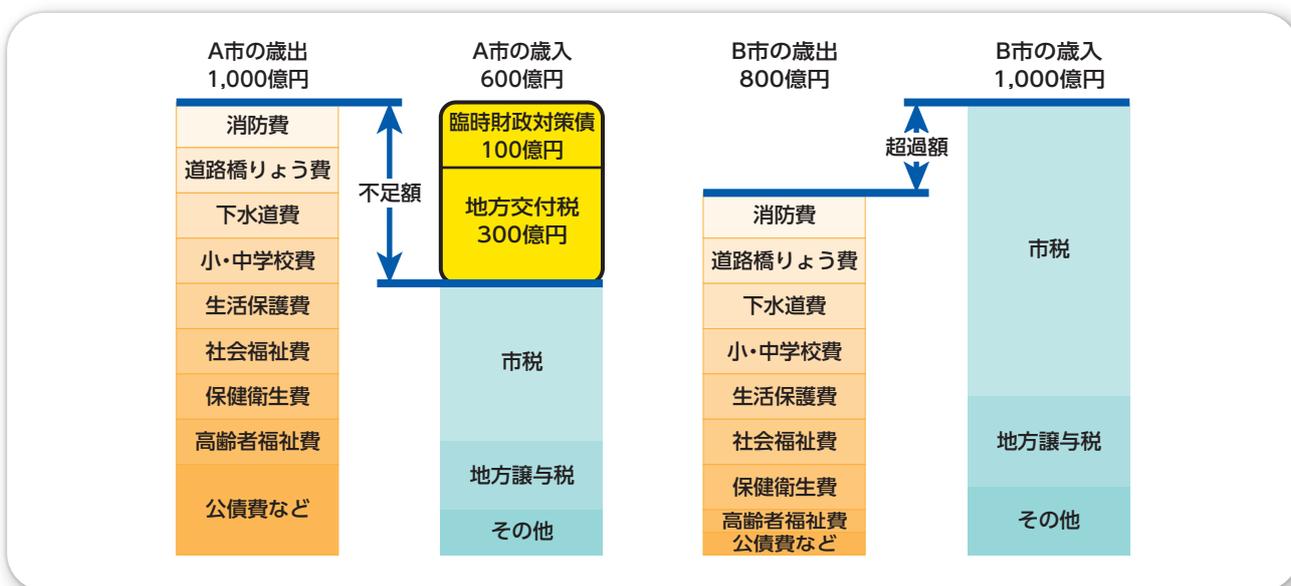


各自治体に配られる地方交付税は、実際に不足している額ではなく、国が定めたルールで計算した額で配られます。

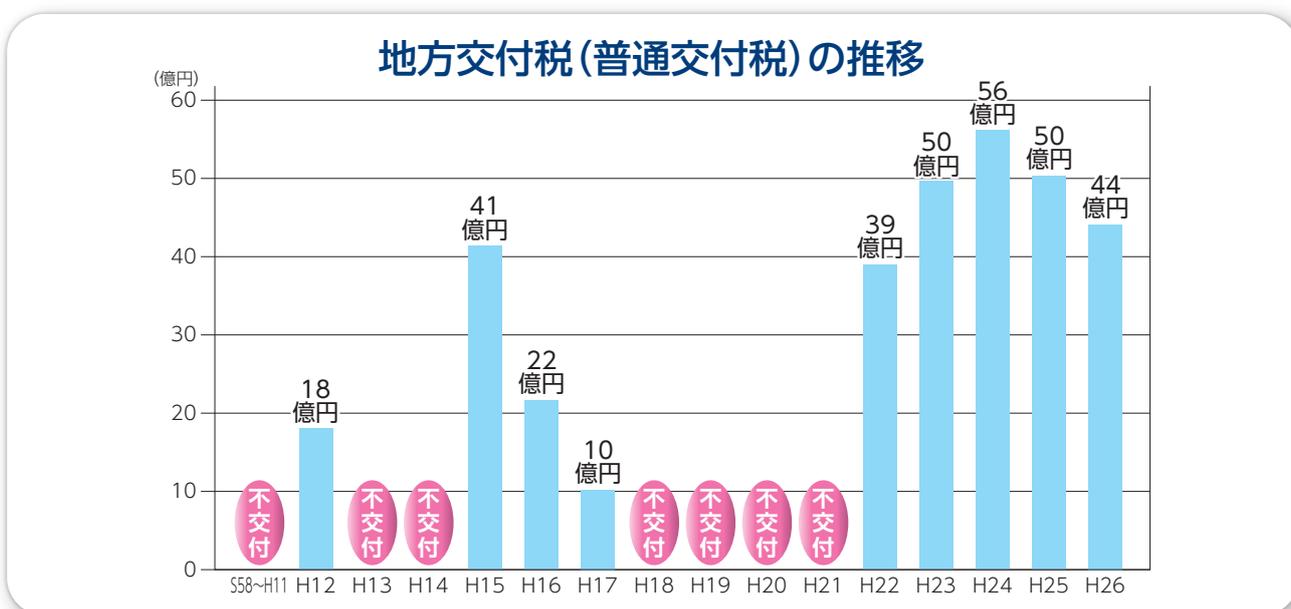
消防署や小・中学校を運営するために必要な経費などを基に1年間に必要なお金（歳出）を積み上げていきます。また、標準的な税率や徴収率で市税など1年間に入ってくるお金（歳入）を積み上げていきます。

A市の場合だと積み上げられた歳出1,000億円に対し、歳入が600億円なので400億円の歳入が不足します。この不足額が地方交付税と臨時財政対策債になります。臨時財政対策債の返済にかかるお金（元金と利子）は、翌年度から歳出に全額プラスされます。

また、B市のように歳出よりも歳入が多い場合は、地方交付税は交付されません。B市は地方交付税に頼らずに財政運営ができるので財政力が高い自治体と言えます。



船橋市は、平成15年度に中核市へ移行し、県が行っていた仕事の一部を市が行うようになってからは、交付されることが多くなりました。



## なんでお金を借りるの？

市債は借金なので、少ないほうが良いと考えるのが当たり前ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの公共施設の整備に必要な費用を1年間の予算で賄ってしまったら、その1年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることになります。

そこで、「市債」という借金をして、1年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

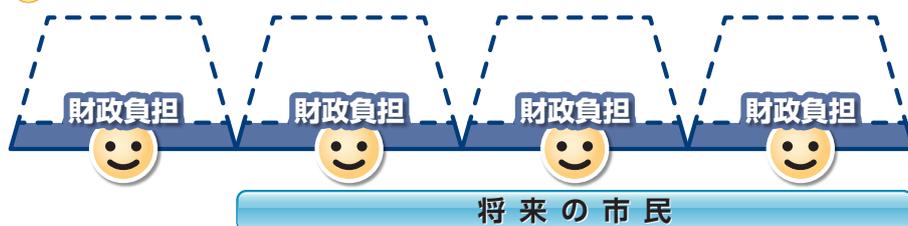
市債(借金)を活用しないと

▶ 公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし

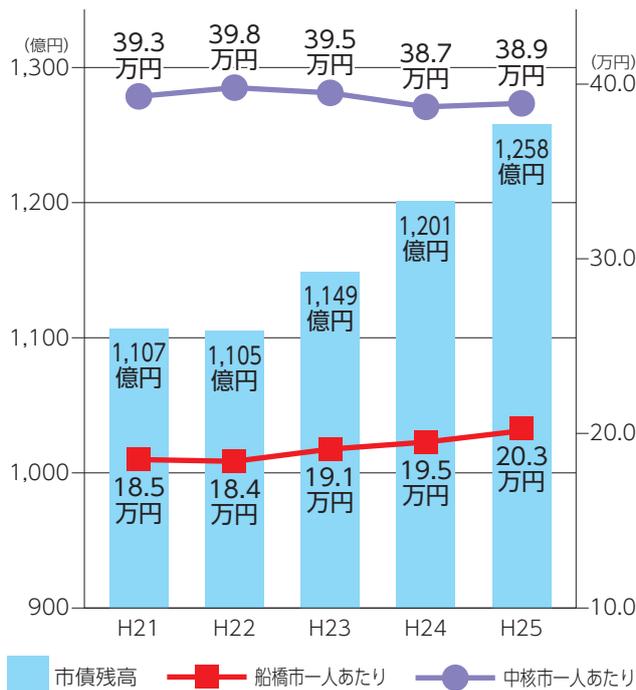


市債(借金)をして

▶ 将来の市民も整備費用を公平に負担します



## 市債残高の推移



平成25年度末の市債残高は、1,258億円(普通会計)で、人口1人あたりの金額は202,804円となります。これは全国の中核市42市(平均389,400円)の中では3番目に少ない額となっています。

今後は、公共施設の老朽化や長寿命化への対応するための費用が必要となるため、市債の発行が増えることが予想されます。

## 普通会計ってなに？

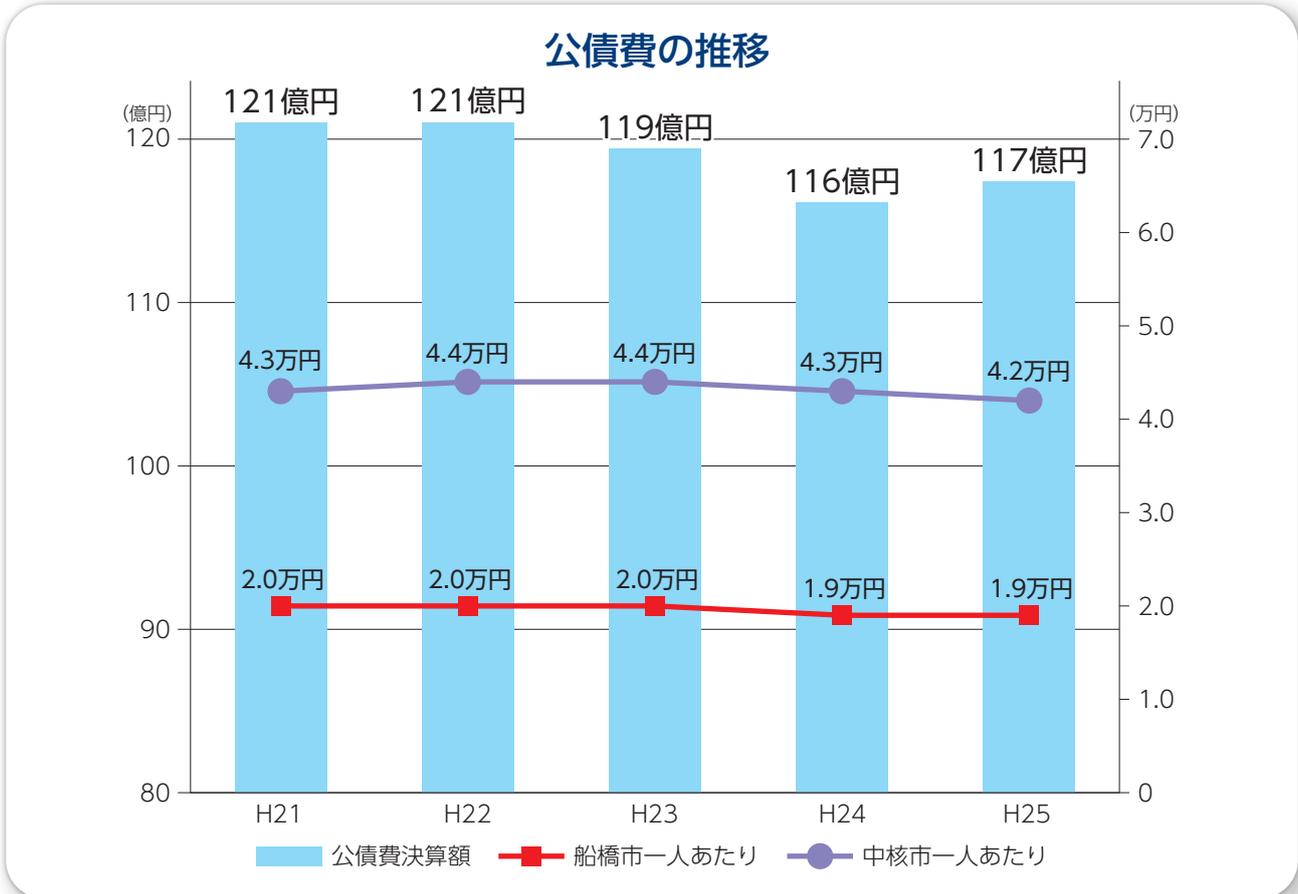
全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。

## 返済は大丈夫なの？

借りたお金（市債）は毎年返済していかなければなりません。市債の返済金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

平成25年度の公債費の決算額は117億円（普通会計）で、人口1人あたりの金額は18,918円となります。これは全国の中核市42市（平均42,218円）の中では2番目に少ない額となっています。



### ●減債基金への積み立て

市では、東日本大震災後に集中的に取り組んだ小・中学校等の耐震化事業や清掃工場を建て替えるための市債、臨時財政対策債（※15ページ参照）の償還が増加することで、平成30年度以降に多額の公債費が見込まれます。

そこで、平成27年度予算から将来、公債費が増加したときに備え、減債基金に5億円を積み立て（貯金）ます。減債基金とは、公債費の償還にだけ使える貯金で、平成28年度以降も積み立てを行っていきます。そして、公債費が増加したときに取り崩すことで公債費が大きな負担とならないようにします。

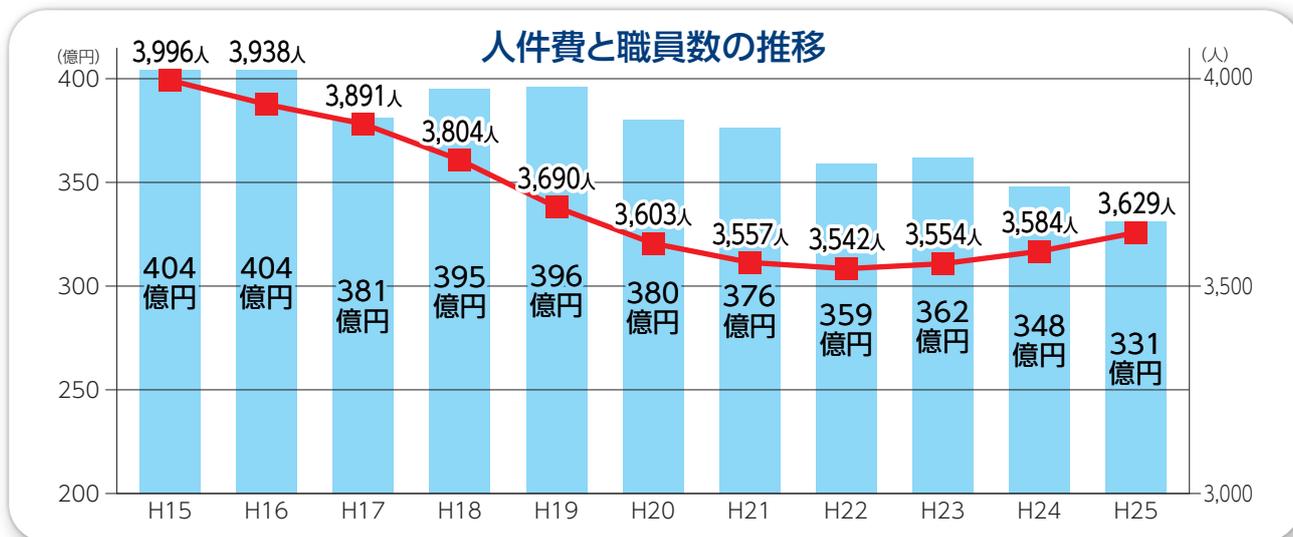
### 減債基金（貯金）



## 人件費は高いのかな？

### 人件費の推移

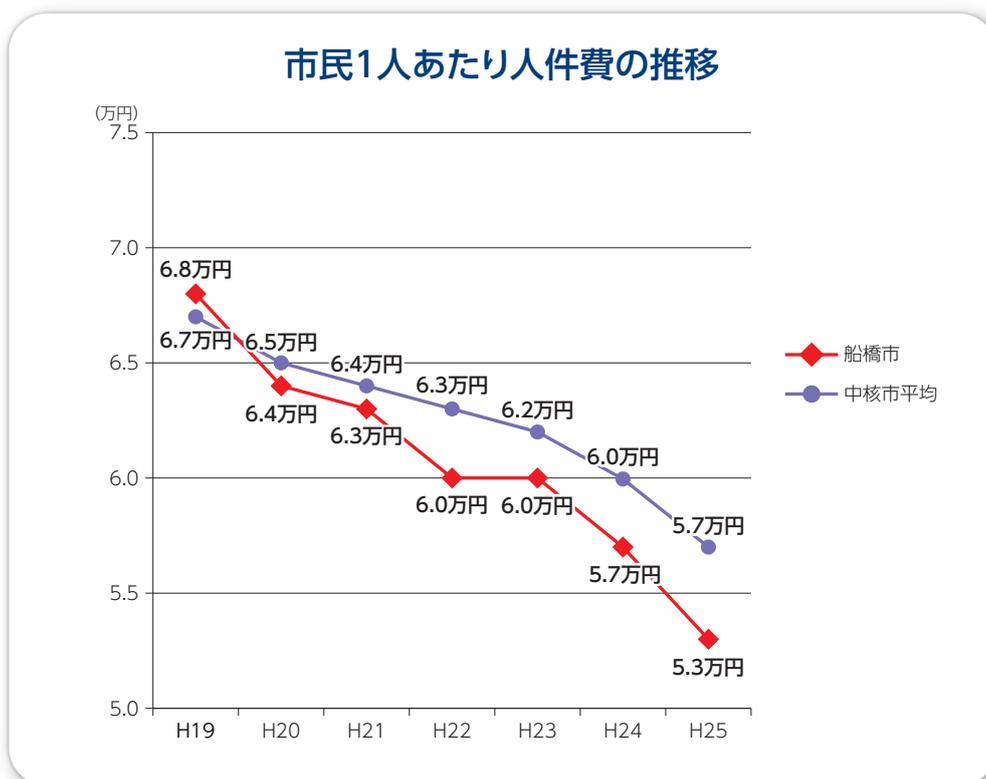
中核市へ移行し、業務量が増えた平成15年度と比較すると、職員数の削減に加えて給与制度や諸手当の見直し等により、人件費を削減しています。



### 他市との比較

では、他市と比べて船橋市の人件費はどうなっているのでしょうか？人口1人あたりで比較してみます。

平成19年度には中核市平均を若干上回っていましたが、他市以上に人件費削減に取り組んだため、平成25年度は中核市平均を下回り、中核市42市中、14番目に少ない額となっています。



## 船橋の財政状況はいいの？

夕張市の財政破綻をきっかけに、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的として、平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、4つの財政指標があります。

これらの指標のうち1つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定しなければなりません。船橋市はいずれの指標もこの基準を下回っています。他の中核市と比較しても財政の健全性が保たれています。このうち特に大切な2つの指標を説明します。

### 実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で、数字が小さいほどその年度の借金返済額が少ないということです。平成25年度決算では0.3%となっており、全国の中核市42市中でも3番目の小ささです。

### 将来負担比率

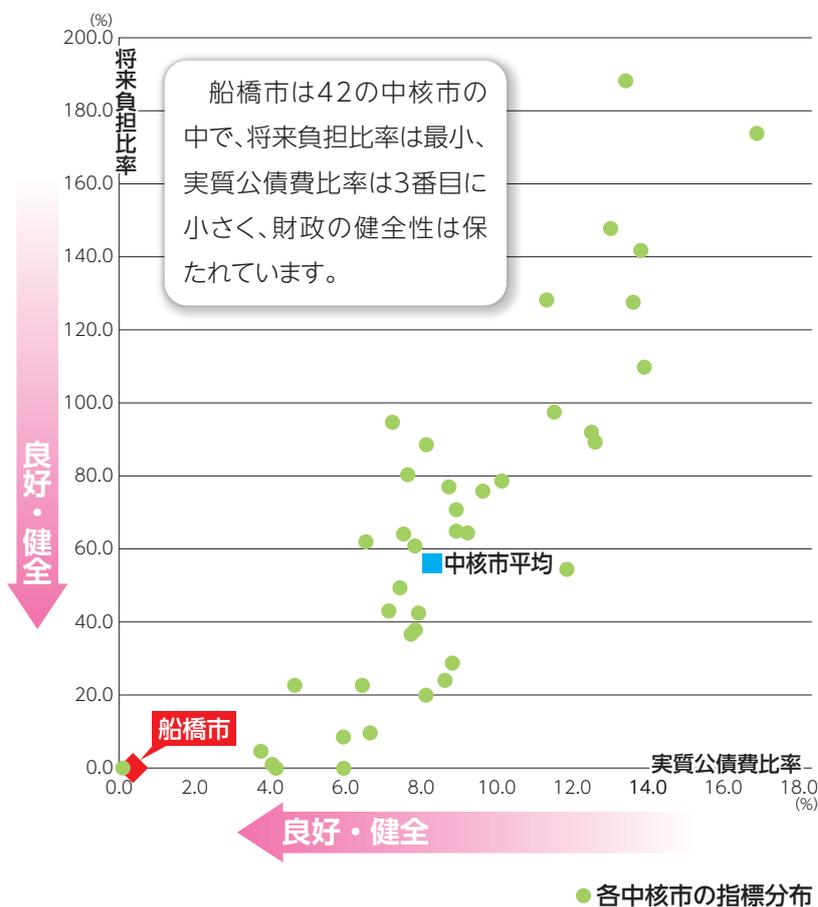
市の実質的な借金が歳入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来負担が少ないということです。平成25年度決算では、将来負担すべき負債を貯金などで十分返済可能なため、「-」で表示しています。

### 健全化判断比率

(平成25年度決算 単位：%)

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	0.3	8.3	25.0
将来負担比率	-	55.9	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25

### 実質公債費比率と将来負担比率における他の中核市との比較



# 持続可能で安定的な財政運営のために

市の財政状況を、貯金の残高、借金の残高や健全性を判断する比率などにより、健全性が保たれていることを説明しました。

しかし待機児童対策、高齢者福祉、公共施設の耐震化・長寿命化、防災対策など、取り組むべき課題が山積みです。現在も老朽化した公共施設の建て替えなど大規模な事業が予定されています。

このような課題に対応し、限られた財源の中で安定した市民サービスを提供するため、公共施設の適正配置、事務や事業の効率化に取り組んでいきます。

## 予定されている主な大規模事業

- 北部清掃工場の建て替え(平成25年度～28年度)
- 南部清掃工場の建て替え(平成28年度～31年度)
- 三番瀬海浜公園の整備(平成27年度～28年度)
- 運動公園プールの整備(平成27年度～29年度)



## 今後の具体的な取り組み

### ● 公共施設等総合管理計画の作成

市が保有する公共施設の状況を一元管理、施設の適正配置、長寿命化を行うための公共施設等総合管理計画を立案し、公共施設の維持にかかるコストの削減を図ります。

### ● 事務や事業の見直し

市の仕事が「誰のために」「何を目的」としたものなのか、目的・目標を明確にしながら、その仕事が「どれだけ市民の役に立っているのか」等を評価し、結果を事務や事業の改革・改善につなげます。



財政の健全性を  
保てるよう取り組んで  
いきます。

# 船橋ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)

本市出身・在住の方をはじめ、全国の「船橋を応援したい・盛り上げたい!」という皆さんから頂いた寄附金を市の魅力を高める様々な事業に役立てます。皆さんからの応援を心からお待ちしております。

**一定金額以上のご寄附をいただいた方に特典を贈呈します**

## ① 5千円以上のご寄附をいただいた方

ふなばし産品ブランドPRキャラクター「目利き番頭 船えもん」と「ふなっしー」のデザイン入りの市特製クリアファイル

## ② 1万円以上3万円未満のご寄附をいただいた方

クリアファイル+選べる特典から1品

## ③ 3万円以上のご寄附をいただいた方

クリアファイル+選べる特典から3品



表

裏

寄附した金額のうち2,000円を超える部分について、所得税と個人住民税から一定限度額までが控除の対象となります。

## 選べる特典 ①～⑩ふなばし産品ブランド認証品



①うなぎ炙煮



②御菜浦生のり佃煮



③小松菜パウダー



④船橋産「小松菜とホンピノス貝」のピッツァ



⑤船橋三番瀬海苔 焼海苔(むらさき)



⑥船橋ばか面おどり(人形焼)



⑦船橋名産 石焼のり満潮



⑧船橋産上船橋三番瀬焼海苔5枚入



⑨ホンピノス酒蒸し



⑩まるごと船橋アイス詰合せ6個セット



⑪アンデルセン公園入園券



⑫船橋のなし「幸水」



⑬船橋のなし「豊水」

※船橋のなし「幸水」「豊水」は季節限定品です。

## 詳しくは、船橋ふるさと応援寄附金ホームページをご覧ください

お申込み・お問合せ先/政策企画課ふるさと納税担当/TEL047-436-2057

<http://funabashi-furusato.jp>

船橋市 ふるさと納税

検索

## 今年も船橋みらい債を発行する予定です

船橋みらい債は市民の皆さんを対象に発行する市の債券です。市のさまざまな事業に関心を持っていただくとともに、協働による魅力的なまちづくりを進めることを目的に発行しています。皆さんの大切な資金を船橋のまちづくりに活かしませんか。

今年度の船橋みらい債の申し込み方法など詳しくは、広報ふなばし(9月15日号)でお知らせする予定です。

平成27年度の発行予定

発行額 5億円  
購入限度額 300万円(10万円単位)  
お申込み期間 10月1日～15日



船橋市の予算や財政に関する詳しい情報は市のホームページでご覧いただけます。

アドレス <http://www.city.funabashi.chiba.jp/>

[トップページ](#) ▶ [市政・市の紹介](#) ▶ [財政\(予算・決算\)・市債発行](#) から  
アクセスしてください。

平成27年6月

発行／船橋市

編集／企画財政部財政課 047-436-2152